

# モノづくりによる環境貢献

私たちメーカーにとって、モノづくりの全過程において環境負荷低減に取り組むことが最優先課題です。そのために横浜ゴムでは、環境負荷の少ない商品の企画に始まり、商品開発、原材料調達、生産、物流、販売、お客様の声の収集の各段階で、様々な活動に取り組んでいます。こうした活動を通じて、横浜ゴムでは2017年度までにすべての商品を環境貢献商品にする目標を掲げています。すでに2008年度には取扱い商品に占める環境貢献商品の比率が、全商品で75%、新規商品で100%に達しています。

国内7カ所、海外9地域にタイヤ技術サービス員を配置、国内外の販売会社などの従業員と共に、日本を含め世界119カ国でお客様のタイヤに関するご相談に応じています。

タイヤ販売拠点では廃タイヤの回収処理の徹底を図るほか、エネルギー使用や廃棄物の削減を進めています。多くの販売拠点が地元で開催される環境活動などに参加し地域社会との相互理解を深めています。

ゴム補強材として、石油から作られるカーボンブラックに代わって、天然鉱物の一種であるシリカの使用比率を高めています。原材料、部品、包装資材について調達先企業へのSOC(環境負荷物質)含有調査も実施しています。

温室効果ガス排出量の削減、エネルギー効率の向上、産業廃棄物発生量の削減と産業廃棄物100%再資源化、ゼロエミッション、水・大気・土壌汚染の防止、化学物質の管理強化など、環境負荷の少ないモノづくりを目指して、様々な対策を講じています。



## 7. お客様の声

## 6. 販売

## 3. 原材料調達

## 4. 生産

常に新しい視点で、新時代の環境貢献商品のコンセプトづくりを進めています。エコタイヤDNA、プレミアムタイヤADVANの環境性能向上など、新しい価値感の提供を目指しています。

物流のエネルギー消費原単位(kl/トンキロ)の削減を進めています。トラック輸送から船便や鉄道便への切り替え(モーダルシフト)、工場からタイヤ販売会社への直送比率の拡大、積載効率の向上などに取り組んでいます。

## 2. 商品開発

## 5. 物流

4次にわたる設計審査で、環境アセスメントチェックシート、環境レーダーチャートを使用して環境性能を厳密にチェックしています。また先進的な材料、設計、シミュレーション技術によって高度な環境性能を実現しています。

## 1. 商品企画



# 新しい視点とイノベーションで 環境マネジメントの次元を高めます

新次元へ飛躍

新次元へ飛躍  
新しい視点、革新的技術開発

## 環境スパイラル・アップ・マネジメント

横浜ゴムは環境負荷の少ないモノづくりに向けて、商品企画から販売・サービスまで、部門間をつないだ業務のサイクルを確立しています。

例えば1998年に発売したエコタイヤ「DNA」は、商品企画部門が立案した省燃費タイヤのコンセプトを実現するため、商品開発、材料調達、生産、販売・サービスの各部門が連携することで、日本初の本格的なエコタイヤとしての市場認知度確立に努めました。

以来12年、様々なエコタイヤの開発を通じ、各部門の連携は強まり、サイクルが回るほど、開発ノウハウと環境意識が高まりました。横浜ゴムではこうした一連の流れを環境スパイラル・アップ・マネジメントと名付けています。

キーワードは「新しい視点」と「革新的技術開発」です。環境に関して従来にない斬新な視点に着目した新商品をイノベーションによって実現し、次のステップのサイクルを回すことで、さらに環境性能に優れた商品を作り出していく考えです。